

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾



2013年
7月24日号
NO5号
♪じんけんワンだふる&
ニャンだふる



OYA OYA 通信

7月10日「うわさと差別 ギロン星人の怒り」&お話『週刊朝日記事』と部落差別
大谷真砂子さん（じんけん楽習塾）
吉澤有香里さん（財団法人大阪府人権協会 RAAP 養成講座修了生）
池上豊さん（部落解放同盟安中支部）



7月10日のじんけん楽習塾は少し欲張った企画でした。前半に大谷さんと吉澤さんにワークショップ「うわさと差別 ギロン星人の怒り」をしてもらい、後半に池上さんより『週刊朝日記事』と部落差別」と題して話していただきました。



下記に前半のワークショップででた意見を載せておきます。後半の池上さんのお話は、地元当事者の声が置き去りにされたままに決着が図られていて、何も解決していない現実がよくわかりました。

Q6 「ギロン星人の怒り」って
ふん。誰がどうして何で誰から
どう思うん
関係 立場
上司一言うわさで広がる必要
それ以外、逃げ出す 指摘(解決?)
内容を検証 自分にとって害があるか
「あんなに怒る必要があるの?」
うわさの根拠もよく 話(はな)す
書いた人が誰かによる。
正直に言いたい。社会の言いたい

Q5 「Aさんの怒り」に似た経験?
子どもが登校 行くのが普通で
話題
Aさん 親の立場が話題になり
あんなに怒るから。(集団力)
個人的にあり
決めつけられなくせし。
・進行中
・ネットの発言
・在日コリアン・部落差別問題

Q3 「あなたたち」とは
誰のことだと思いませんか?
地球人
ギロン星人とあると云うと...ギロン星人
自命も含めた社会
無関心な人
うわさやデマを流している
うわさを流す人
ギロン星人以外のネ行の地球人
法の不備がある国(政府)

Q2 なぜ「こんなデマ」が
広がったのでしょうか?
ドラマの再放送
ギロン星人のうわさに加わった
時が流れた ギロン星人の被害
おもろそう 興味本位
真実を知らない
ドラマから連想 想像を 乗せ
ドラマの不安 信じる
社会のマスコミに流るる者

Q4 Aさんはどんな人?
・自命も含めたギロン星人と云うと...
ギロン星人
・花子の人
・うわさを流している 学生の人
・ゲスト - ティー - 地球人
・異文化を学ぶための 学生
・ギロン星人の研究している 研究者
・ボランティア 市民グループ
・普通に来しにゆく人
・大学の教員 (生の声聞いている)
・肩書きが...一般市民 講師

Q7 このような「デマ」を広げな
ために何かできる?
・つけたデマは、流す
よさを伝える人内情を鑑みれる...
・自命も含めた...
・歴史の真実を伝える ぶかしの話
部落差別地元のつながり
小口時からの被害が大事
多様性 多様な人種に...
全体的に...も...の可能性



【みなさんの感想】



■ワークの内容から、実際に自分が経験したことを考えさせられました。学生時代に部落に対する差別を友人が私に言ってきた時に、心の中では「えっ。何言ってんの？今時そんなこと言う人も少ないで」と思いながらもその本人に対しては何も言わず、家で母に対してグチをこぼしたことを思い出し、その時に、今、自分がそれを聞いたらその子と向きあって話せるだろうことが、言えなかったんだろうと考え直させられました。

私は小学校の頃から差別問題について、他の地域の友人より多くを学んできていると思います。

学生時代に友人が話していた差別の内容を聞いた時、「そういうことって小学校の時に学んでけえへんかったん？そんなことよお堂々と言えんな」と強く感じたのと同時に自分が小学校の頃からの差別についての学習って当たり前じゃないんだなと思いました。そして、こういった学習はやはり大切だなということ。学んでいた小学生当時はそんな深い思いもなく、話してくれている人の内容を、何となく聞いていたことが、自分の中で感性として根付いているものがあるんだなあと感じ、小中学校で差別のことをたくさん学べて良かったなと思いました。小さい頃からいろんな話を聞いて成長していくことで、その人自身の差別感情というものが変わっていくし、逆に大人になっていろいろ知ったうえで学ぶのとは異なった感性が育つんじゃないかと思いました。

■「うわさと差別 ギロン星人の怒り」について各々「どう思ったか？」についての取り方が様々であり、また、その見方が深いと思った。

■久しぶりのワークショップ参加でしたが、いろんな考えや話がやりとりでき、大変刺激を受けました。噂の連鎖を断ち切るため、何が真実かを自分に問いかけていきたいと思います。

■・はじめて参加しました。職場以外に自分より年配の方々と議論をする機会はほとんどありませ

るので、普段あまり使わない言葉などを聞けてとても勉強になりました。・職業柄、多様性を持てるように心がけてはいるのですが、やはり偏ってしまっているなと感じ、反省できました。・みなさん、とても議論に慣れていらっしゃるのて楽しく(?)すごせました。ありがとうございました。

■初対面の人も複数おられましたが、楽しく議論することができ、若い人の考え方も聞けて良かったです。しかし、2時間30分は少々長すぎますね。研修は長くて2時間以内と思います。

■時間的な余裕がなくてちょっともったいなかった。2日にわけてもらえたらもっとじっくり考えたり話し合えたりできたと思う。週刊朝日の部落差別の記事に関してはずっとモヤモヤわからないことがある。①橋下氏の立ち位置がわからない。なぜ部落差別だと怒らないのか？なぜ、自分たちにさえ謝罪すればそれでいいのか？怒りの論点の狭さとズレを感じる。②橋下氏とマスコミはあれほど地域を巻き込んで地域の人々を傷つけ、今後も大変な思いをさせるようなことをしたのに謝らないのか？③佐野眞一は東電OLの時もそうだったけど、被害者や被害者家族のルーツや生き方など、一般人のプライバシーにズカズカ入り込んでこれをあからさまにすることで、事件の背景や人物像を浮き彫りにする手法を取っているが、それはやりすぎではないのか？周囲の人を巻き込み多大な迷惑をかけることに対して作家だからといって許されるのか？この人もなぜ謝らないのか？巻き込むだけ巻き込んで大きなダメージを与えておいて、どうして誰も責任を取らない？どうして差別問題という社会的な問題が置き去りにされて、個人の名誉棄損の問題にすりかわってそこで決着が着くの？納得がいかない。

